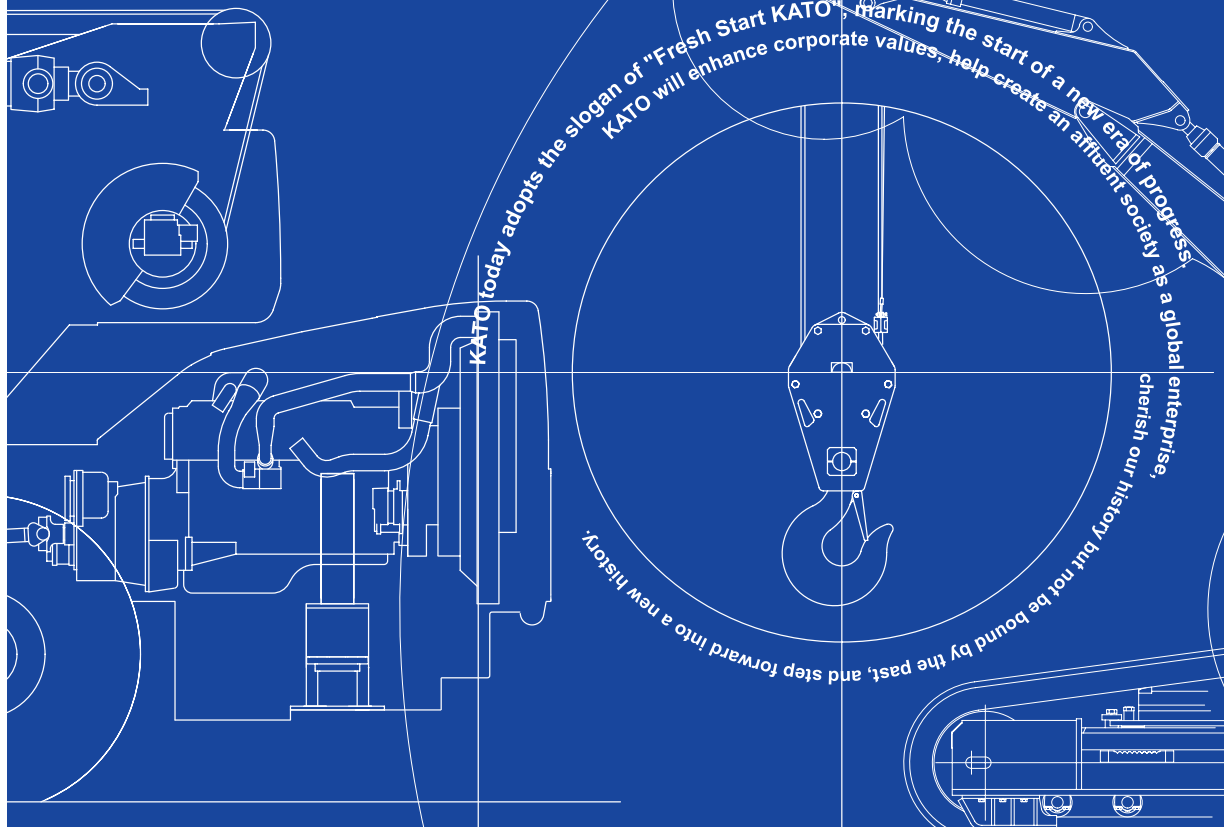


KATO

"Today's dialogue leads to tomorrow's technology"



www.kato-works.co.jp

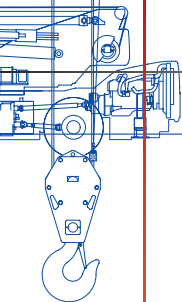
KATO Report

第110期中間報告書

2008/4/1~2008/9/30

株式会社 加藤製作所

証券コード 6390



Innovations For The Future

未来に向けたあらゆる革新的な取り組み
企業価値の向上を目指し
世界的企業として豊かな社会作りに貢献します

Contents

株主の皆様へ……………	2
連結決算の概要……………	3
トピックス……………	5
会社概要……………	6



平成20年12月

代表取締役社長

加藤 公康

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社第110期第2四半期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）における我が国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱に一層の拍車がかかり、世界経済の減速懸念とともに、原油価格および素材価格の高騰など、先行きの不透明感が急速に高まってまいりました。

かかる状況下におきまして、当社グループといたしましては、主力であるラフテレーンクレーンを中心に、営業活動の強化とともに、さらなる経費の削減を推し進めました。

その結果、当第2四半期累計期間の連結売上高につきましては、荷役機械部門は213億9千7百万円、建設機械部門は96億1千8百万円となりました。

また、路面清掃車等のその他の部門につきましては2億6千4百万円となり、総売上高は312億8千万円となりました。

損益につきましては、営業利益は21億8千4百万円、経常利益は23億6千4百万円、四半期純利益は12億1千7百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算の概要

連結貸借対照表

[単位:百万円]

科 目	2007年度 (前 期 末) 2008年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2008年9月30日現在
資産の部		
流動資産	54,189	54,473
現金及び預金	13,862	10,459
受取手形	11,346	13,261
売掛金	12,660	11,155
商品及び製品	4,606	6,185
仕掛品	3,643	4,374
原材料及び貯蔵品	5,997	6,652
繰延税金資産	1,223	1,103
その他	983	1,361
貸倒引当金	△132	△80
固定資産	19,325	19,630
有形固定資産	5,974	6,681
建物及び構築物(純額)	2,187	2,194
機械装置及び運搬具(純額)	880	965
土地	2,548	2,548
その他(純額)	357	973
無形固定資産	544	465
投資その他の資産	12,807	12,482
投資有価証券	687	636
長期受取手形	9,013	9,071
信託受益権	1,513	1,189
破産更生債権等	2,496	2,524
繰延税金資産	513	474
その他	1,083	1,105
貸倒引当金	△2,499	△2,519
資産合計	73,515	74,103

科 目	2007年度 (前 期 末) 2008年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2008年9月30日現在
負債の部		
流動負債	36,828	37,747
支払手形	17,491	18,001
買掛金	6,006	6,634
短期借入金	8,978	9,115
未払法人税等	1,092	1,050
割賦販売前受利息	1,470	1,446
賞与引当金	509	536
製品保証引当金	306	337
その他	973	625
固定負債	6,334	5,130
長期借入金	4,614	3,516
退職給付引当金	1,166	1,041
役員退職慰労引当金	525	544
その他	27	27
負債合計	43,163	42,878
純資産の部		
株主資本	30,054	30,888
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	20,029	20,865
自己株式	△20	△22
評価・換算差額等	292	334
その他有価証券評価差額金	253	223
為替換算調整勘定	38	110
少数株主持分	6	2
純資産合計	30,352	31,225
負債純資産合計	73,515	74,103

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

[単位:百万円]

科 目	(ご参考) 2007年度 (前中間期) 2007年4月 1日～ 2007年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2008年4月 1日～ 2008年9月30日
売 上 高	26,708	31,280
売 上 原 価	22,132	26,106
売 上 総 利 益	4,575	5,173
販売費及び一般管理費	2,899	2,989
営 業 利 益	1,676	2,184
営業外収益	301	354
営業外費用	268	175
経 常 利 益	1,709	2,364
特 別 利 益	45	34
特 別 損 失	3	5
税金等調整前四半期(中間)純利益	1,751	2,392
法人税、住民税及び事業税	632	1,002
法人税等調整額	216	178
少 数 株 主 損 失	48	6
四 半 期 (中 間) 純 利 益	951	1,217

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位:百万円]

科 目	(ご参考) 2007年度 (前中間期) 2007年4月 1日～ 2007年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2008年4月 1日～ 2008年9月30日
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	807	△1,170
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△175	△944
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	282	△1,339
現金及び現金同等物に 係る換算差額	20	51
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	935	△3,402
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	12,880	13,862
現金及び現金同等物の 四半期末(中間期末)残高	13,815	10,459

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当期から四半期開示制度に伴う会計基準の変更により、連結損益計算書ならびに連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、第2四半期連結累計期間の業績について掲載しております。
 前期以前の中間期の数値につきましては、参考数値として掲載しております。

《環境に配慮した新型クレーンをシリーズ発売》

昨年発売の25トン吊りラフテレーンクレーン「SR-250Rプレミアム」に引き続き、新型13トン吊りラフテレーンクレーン「MR-130Rプレミアム」、ならびに4.9トン吊りラフテレーンクレーン「MR-130RMプレミアム」を2008年9月より全国一斉に発売しました。

「MR-130Rプレミアム」は平成19年ディーゼル特殊自動車排出ガス規制に適合した新型コモンレールエンジンを搭載し環境に配慮しました。

すでに定評のある6段伸縮式スーパーブーム、最大オフセット角60度、無段階起伏の高剛性2段箱型パワージブを採用し、ふところの広い作業に威力を発揮しています。

クレーンが旋回するときに自動停止させる機構、走行時に前方視界の死角を無くすカメラの搭載など安全への配慮を拡充しました。

当社13トン吊りラフテレーンクレーンは国内でも定評のあるワークエリアを確立し、建築現場や土木作業など幅広いニーズに、お応えしております。



《220トン吊りオールテレーンクレーン発売》

新型220トン吊りオールテレーンクレーン「KA-2200」を2008年8月より全国一斉に発売しました。

「KA-2200」は当社が独自に開発した6軸式専用台車に搭載しました。電子制御燃料噴射システムを採用した、クリーンで低燃費、高出力エンジンを搭載しています。

最先端のスーパーブームは伸縮スピードが速く、ストロークも長くピンロック方式よりも多様な作業性に対応し、高い剛性で信頼性があります。

また、短時間で簡単着脱できる、3段式スーパーラフィングジブとふところの深いヘビーリフトジブを標準装備しています。

超大型クレーンにも環境と安全性を配慮し、工事現場での迅速性を確保した「KA-2200」は大規模工事現場で大活躍しております。



■ 会社の概要 (2008年9月30日現在)

創 業	明治28年
会 社 設 立	昭和10年 1月
株 式	発行可能株式総数 234,000,000株 発行済株式総数 58,717,936株
資 本 金	2,935,896,800円
従 業 員 数	600名 (連結 708名)
主 要 製 品	●荷役機械

ラフテレーンクレーン (ラフター®)
 オールテレーンクレーン (オルター®)
 〈全油圧式〉トラッククレーン
 積載型クレーン (キャブバック®)
 〈全油圧式〉クローラクレーン

●建設機械

〈全油圧式〉ショベル
 アースドリル (シティドリル®)
 全回転式ボーリングマシン

●その他

〈真空吸込式〉高速路面清掃車
 〈超真空式〉万能吸引車 (マルチバック®)
 空港用除雪車 (スノースーパー)

■ 役員 (2008年9月30日現在)

代 表 取 締 役 会 長	加 藤 正 雄
代 表 取 締 役 社 長	加 藤 正 公
取 締 役 常 務 執 行 役 員	横 手 靖 宏
取 締 役 執 行 役 員	田 籠 洽 二
取 締 役 執 行 役 員	渡 辺 隆 之
取 締 役 執 行 役 員	工 藤 和 博
執 行 役 員	米 村 史 博
執 行 役 員	柳 多 々 良 雄
執 行 役 員	石 丸 啓 二
執 行 役 員	高 橋 川 一 秋
執 行 役 員	尾 城 正 博
常 勤 監 査 役	向 井 賢 一
常 勤 監 査 役	為 谷 進
監 査 役	林 浦 功
監 査 役	浦 田 隆

(注) 監査役林 功および監査役浦田 隆の両氏は、社外監査役であります。



茨城工場 (茨城県猿島郡五霞町)



群馬工場 (群馬県太田市)

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同株主総会における議決権行使の基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	そのほか必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
単元株式数	毎年3月31日
株主名簿管理人	1,000株
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
(連絡先)	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル) 専用ホームページ http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/ ※平成21年1月5日より、上記連絡先住所が次のとおり変更となります。 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (電話番号は変更ありません。)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社本店および全国各支店
公告方法	電子公告 当社のホームページ (http://www.kato-works.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■ホームページのご案内

当社HPでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリースなど、様々な情報発信を行っております。

<http://www.kato-works.co.jp>

